

代表質問を終えて

自民党県議団

まず冒頭、福岡県を軸とした九州の成長戦略について質し、「九州の自立を考える会」の五つの提言も踏まえ、九州を牽引していくとした回答を得ました。

次に、8月の大雨災害における被災者救済と復旧対策について質し、このなかで日田彦山線復旧に係るこれまでの取り組みと今後の対応について、解決方針並びに決断時期も含め見解を厳しく求めたところ、遅くとも今年度中には解決ができるよう、できるだけ早く、その方針をまとめあげる旨の回答を得ました。

また、民生委員確保について質し、このなかで県が支給している活動費の引き上げを求めたところ、国に対して県独自でも要望を継続するとともに、本県独自の加算については、今回の改選でなされる方々の分から引き上げる方向で、今後、検討を進めていくとの回答を得ました。

さらに、新県立美術館の建設については、今後は有識者による「建設地選定委員会」を設置し、来年1月中にも建設地の選定を行い、内外に誇れる新しい美術館の建設を具体化するとして方針の回答を得ました。

この他にも「水道事業の方向性」「宿泊税を活用した県主体事業、市町村交付金事業の構想」「農林水産問題」、さらに教育問題として「新学習指導要領実施に向けての課題」等、県政全般の課題について質したところでした。

民主県政県議団

民主県政クラブ県議団では、九州北部豪雨において特に仮設住宅を退去された方については自分の望む形での復興が実現するまで、JR日田彦山線については鉄道での復旧を最後まで求めていくべきであると知事に強く訴え、また来年度の国の予算の目玉である地方創生交付金について、一過性の事業に使用しないこと、市町村の手続きが煩雑であるため、県の支援を要望しました。

女性活躍推進を図る男性の育児休業について取り上げ、本県職員の取得率が全国平均を下回っており、教育委員会は1%、さらに県警察においては0%であることを明らかにし、知事をはじめそれぞれ今後改善に向けて積極的に取り組んでいくという答弁を引き出しました。

九州歯科大学附属病院における無給医問題については是正を求めて質し、新たな制度を創設し給料を支給する事になりました。

中学・高校の運動部活動の在り方において、国が定めたガイドラインの運用状況と課題を明らかにした上で是正を求め、飲酒運転撲滅については、今後取り締まりを強化し啓もう活動にも取り組んでいくよう要望しました。また、水上バイクに関してトラブルが増加していることを指摘し、今後規制強化を図るよう求めました。

公明党

防災・減災対策については台風15号の被害を踏まえ、電力施設の備えについて説明を求め、九州電力の防災業務計画を確認し送電設備に関しては仮復旧を迅速、適切に行う体制であることが確認できました。

人生100年時代に向けた取り組みについて我が会派が行ったウェブ調査等を基に健康づくり県民運動などの取り組みの進捗状況を確認し今後の取り組みについて質すと共に70歳現役応援センターのさらなる活用について伺いました。

歯科衛生士が全国的に不足している問題を踏まえ、本県の状況を確認し、本県が行っている歯科衛生士復職支援事業の説明を求め、九州歯科大学における歯科衛生士のリカレント教育やスキルアップを目的とした育成について質しました。

その他、「韓国との関係について」「飲酒運転撲滅に関する取り組みについて」「知的障がいや発達障がい児者への理解、配慮を進めるための疑似体験を通しての取り組みの必要性について」「国際的に問題になっている漂流ごみ」「プラスチックごみに対する本県の取り組みについて」「脳脊髄液減少症対策への今後の取り組みについて」「多発する交差点付近における交通事故対策について」等、様々な問題について質問し答弁を得ることが出来ました。

緑友会

7月、8月の大雨災害で、緑友会として、8月30日に被災地を視察してきたことを踏まえ質問しました。これまでの河川改修等の対策だけでは対応できず、流域全体で流出抑制を行う総合的な治水対策の必要性を指摘したところ、知事は、県が行う河川整備に加え、関係自治体が雨水貯留施設や雨水浸透施設を整備する総合的な治水対策に取り組み、市街地密集度、降雨状況や浸水被害状況を勘案し、効果的な治水対策を進めると答弁しました。

8月31日に「鉄道による日田彦山線復旧を求める住民決起集会」が筑前岩屋駅前で行われました。

被災地住民の切実な訴えに、一緒に立ち上がるのが、温かみのある政治、被災地に寄り添う行政だと考えます。そこで、「鉄道による日田彦山線の復旧を求める県民運動」へと取り組みを決意を質しましたが、知事からはまったく気概が伝わってきませんでした。我が会派は、鉄道による復旧なくして九州北部豪雨からの復旧復興はないと考えます。

その他として、「食料自給率における食育の推進」「養蜂業の振興」「空港の路線誘致」「AIの今後（Society 5.0）」「介護認定のスピードアップ化」「不登校問題」「あおり運転」等、県政全般にわたって質問しています。

提出された議案

令和元年9月定例会では議案42件が提出され、いずれも原案のとおり可決、同意、認定、原案可決及び認定されました。

- 予算議案 2件
 - ・令和元年度福岡県一般会計補正予算(第1号)
 - ・令和元年度福岡県一般会計補正予算(第2号)
- 条例議案 9件
 - ・福岡県宿泊税条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の制定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
 - ・福岡県保健福祉環境事務所等の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県民生委員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例及び福岡県幼保連携型認定こども園の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県建築都市関係手数料条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県建築基準法施行条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県警察関係手数料条例の一部を改正する条例の制定について 2件
- 工事請負契約の締結に関する議案 2件
- 経費負担に関する議案 6件
 - ・農業農村環境整備事業の経費の負担について
 - ・県営土地改良事業の経費の負担について
 - ・県営林道開設事業の経費の負担について
 - ・港湾関係事業の経費の負担について
 - ・街路関係事業の経費の負担について
 - ・流域下水道事業の経費の負担について
- 人事に関する議案 2件
 - ・副知事の選任について
 - ・教育委員会委員の任命について
- 決算関係議案 20件
 - ・平成30年度福岡県一般会計決算 など
- 議員提出議案 1件
 - ・観光王国九州とともに輝く福岡県観光振興条例の一部を改正する条例の制定について

可決された意見書、採択された請願

- 可決された意見書**
 - 新たな過疎対策法の制定に関する意見書
 - 教職員定数の改善及び義務教育費の十分な財政措置を求める意見書
 - 悪質・危険な運転の撲滅を求める意見書
 - 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書
 - 廃プラスチック類等に係る処理の円滑化に向けた市町村への支援を求める意見書
- 採択された請願**
 - 私立幼稚園に対する助成制度の拡充強化に関する請願